縁結びの木について

八幡平安代地区にある桜松神社は、ご利益のあるスポットとされています。神社の名は文字通り「サクラマツ」で、この地の松の木に桜の花が咲いたという伝説に由来します。

この神聖な場所に立つ鳥居のすぐ内側には、年月を経て節くれ立ってはいるものの今も名高い2本の苔むしたカエデの木が伸びています。この2本は、露出した岩から生えている根元部分だけでなく、弧を描いて高く伸びるはるか頭上の幹もひとつに交わっています。長年かけてこのように継ぎ目なく結合したため、このカエデには縁結びのご利益があるとされており、恋愛や結婚の成就を祈願するために地元の住民も遠方の人も参拝に訪れます。

桜松神社

〒028-7542 岩手県八幡平市高畑

桜松神社の詳細については、hachimantai.or.jp をご覧ください。

岩手県全域の観光情報については、visitiwate.com をご覧ください。